

平成28年度の重点事業を県に要望

☎政策財政課政策企画係 ☎⑤6710

7月27日、小山田市長はじめ関係部長が県庁を訪れ、来年度の重点事業について、三村知事ほか県担当者に説明しました。

今年度は、市と県、国が連携して取り組むべき事業など、新規3件、継続12件の合わせて15件を要望。説明会では、特に重要性の高い5件について協力を求めました。



新規

①子ども医療費の無償化制度の創設について

市 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、子どもを安心して産み育てられる環境を整えるために、全国一律の子ども医療費無償化制度の創設について、国に要請していただきたい。

県 子ども医療費の無償化については、国が行うべき重要な少子化対策であることから、今までも国に要望している。今後もさまざまな機会を捉え、国に働きかけていきたい。

②第3子以降の保育料の軽減の拡充および無料化について

市 子育て世帯の経済的負担の軽減と地域格差の解消を図るために「青森県保育料軽減事業」の拡充に取り組むとともに、第3子以降の保育料の無料化について、国に対し働きかけていただきたい。

県 県としても多子世帯への支援は必要と考えており、国に対し重点施策提案として要望している。全国一律の制度として実施するよう、今後も要望を継続していきたい。

③八甲田登山道の整備について

市 長い間整備されず危険な状況となっている、谷地温泉から高田大岳への登山道について、県管理とし、早期に整備していただきたい。

県 現在、国から県に対する登山道の敷地の貸付手続きを進めている。県が管理する範囲を定めた上で、関係団体と管理の方法などを協議していきたい。

※新規…新しい事業として要望した事業
継続…昨年度に引き続き要望している事業

継続

④周産期医療医師・麻酔科医の確保について

市 地域から信頼される病院として良質の医療を継続して提供していくために、周産期医療医師及び麻酔科医師を確保するよう、国に対し強く働きかけていただきたい。

県 全国的な問題となっている、地域偏在や診療科の偏りを是正する仕組みについて国に要望するとともに、県全体の医師数を増やすさまざまな取り組みにより、解消に向けた努力をしていきたい。

⑤奥入瀬溪流の公衆トイレの整備について

市 奥入瀬溪流を訪れる観光客が、ゆっくりと快適に散策できるよう、石ヶ戸～子ノ口間における公衆トイレの新設・改善に早期に取り組んでいただきたい。

県 国立公園内の新たな施設整備は原則として国が行うことになる。さまざまな課題はあるが、十和田市と連携し、国との協議を進めていきたい。

その他の要望事項	※区分
屋内サッカースタジアム（全天候型多目的球技場）の設置について	継続
地域高規格道路の整備について	継続
野生きのこの出荷制限の早期解除について	継続
主要地方道三沢十和田線の整備について	継続
外国人観光客誘客対策の強化について	継続
一般国道103号奥入瀬（青楓山）バイパスの整備について	継続
一般国道102号バイパスの整備について	継続
一般国道45号及び一般国道102号の整備について	継続
主要地方道十和田三戸線の整備について	継続
三沢空港利用促進対策の強化について	継続

意見交換（フリートーク）

来年は、十和田八幡平国立公園指定80周年を迎えることから、記念事業などについて、市長と知事が意見交換を行いました。

市 80周年の節目は、十和田湖・奥入瀬などの魅力を改めて全国に発信する絶好の機会であり、記念事業の実施により観光振興を図るためにも国や秋田・岩手両県への働きかけなど、県の積極的な対応をお願いしたい。

県 現在、環境省を中心に80周年に向けた検討を進めており、記念式典は国が主催、関連事業は地元が行う方向とかがっている。来年度は新幹線開業後の大型観光キャンペーンも実施されることから、県としても国

内外への情報発信や新たなコンテンツの開発などにより誘客に努めたい。

市 80周年記念事業の一つとして、『乙女の像小型試作』の“ぷらっと”への常設展示について、特段の配慮をいただきたい。

県 通年での貸し出しには課題があるが、特別な年であることから、期間を含め相談のうえ対応していきたい。